

## 第2回伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会 会議録

〔事務局〕 人権・広聴相談課

〔開催日時〕 令和4年8月23日（火曜日）午前9時30分～午前11時30分

〔開催場所〕 伊勢原市役所 3階 第3委員会室

### 〔出席者〕

（委員） 和田委員、早川委員、片伯部委員、畠中委員、丹野委員、  
山崎委員、川畑委員、石委員 8名

（事務局） 人権・広聴相談課長、ほか2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

### 〔配付資料〕

資料1 プランの目標等について 各委員からの意見

<資料番号なし>

父子健康手帳の写し

パブリックコメント 伊勢原市パートナーシップ宣誓制度（案）

### 《審議の経過》

#### 1 議題

##### （1）第3次伊勢原市男女共同参画プランの目標等について

- ・和田委員長が準備したパワーポイントを使用して、策定にあたり留意するポイントや検討すべき項目について、認識の共有を図った。

ア 目標について

イ 基本方針について

ウ 必要と思われる具体的な取組について

- ・ア～ウのそれぞれについて、第2次伊勢原市男女共同参画プラン、第3次伊勢原市男女共同参画プラン委員長案と資料1を参照しながら、協議した。検討結果は、別紙1のとおり。

##### （2）その他

- ・協議全体や今後について、意見交換を行った。
- ・和田委員長、早川委員より、愛知県にある消防団の取組について、紹介があった。  
⇒ 各委員へ、先進的な取組などの情報提供を依頼した。
- ・和田委員長より、男女共同参画推進委員会で取組、提案したいことの紹介があった。

※主な意見・質疑の内容は別紙2のとおり。

以上

目標	基本方針	施策の方向（案） 必要と思われる具体的な取組
誰も男女がいきいきと暮らせる社会を目指す 誰も男女がいきいきと暮らせる社会を尊重し、	I. 男女共同参画社会の実現に向け一歩踏み込んだ基盤づくり	1 男女共同参画の理解の促進 男女共同参画の実現に向けた啓発と情報提供の充実 様々な学習機会を通じた男女の意識改革、理解の促進
	II. いきいきと男女がともに活躍できる環境づくり	2 あらゆる分野における女性の参画・活躍の推進 女性の様々な分野へ参画しやすい風土作り 女性が暮らしやすく、暮らし続けられる環境づくり
	III. ワーク・ライフ・バランスを考えた仕事・家庭・地域活動の充実推進	3 男女が働きやすいワークスタイルの創造 雇用等における男女の均等な機会・待遇の確保とワーク・ライフ・バランスの実現
	IV. 安全・安心で健康に暮らせる社会、暮らしの実現	4 家事・育児・介護を男女で共に担う環境の充実 家庭・地域における男女共同参画活動の推進
	IV または V	7⇒5 心身の健康支援と男女の性差に関する理解の促進 性差理解の推進と、生涯を通じた心身の健康支援
	V. 男女の区別なくあらゆる人権の尊重	5⇒6 あらゆる暴力の根絶 性的搾取を含め、あらゆる暴力の根絶に向けた支援
		6⇒7 困難を抱えた人に対する支援 生活上様々な困難を抱える人への対応と多様性を尊重する環境の整備

※ 部分が、決定事項。基本方針との紐付けにより、施策の方向を入替。

## 議題（1）第3次伊勢原市男女共同参画プランの目標等について

## ア 目標について

## 【主な意見】

●「環境」という表現を取り入れることを考えていたが、「社会」と表現した方が全体的なまとまりがあって良いと思う。

●市の5年後の将来像として考えたときに、「男女が」という表現を入れた方が良いか迷う。

●「男女」は入らなくてもよいのではないか。

●「誰でも」や「ひとり一人」という表現でも、良いと思う。

⇒ 男女共同参画に取り組むプランの目標であることから、「男女」という表現をすることとなった。

## イ 基本方針について

## 【主な意見】

●第2次プランのような3つの方針を検討したが、5つに分かれているとより分かりやすく感じた。

●「人権」は、扱う項目の幅が広い。どのような取組をプランに組み込むか、線引きが必要になると思う。

●ⅡとⅢは、関連しているように思うので、合わせて1つの方針にしてはどうか。

●Ⅴで、「男女のあらゆる人権」という表現では、「男女」のみという印象を感じるので、外した方が良いと思う。

⇒ 必要と思われる具体的な取組とも合わせて検討し、次のとおりとなった。

- ・Ⅱは社会的・企業的な取組、Ⅲは地域的・家庭的な取組を行うことから、合わせない。
- ・Ⅴでは、目標と同様の考えにより、「男女の区別なくあらゆる人権」という表現へ修正。
- ・「施策の方向6 あらゆる暴力の根絶」が、基本方針のⅣ、Ⅴのいずれに入るかは保留。

## ウ 必要と思われる具体的な取組について

## 【主な意見】

●「男女」という表現については、どこまで強調していくか、今後も検討していきたい。

●企業では、女性の就労が少ないなどの問題がまだ多い。引き続き、取り組んだ方が良い。

●自分の思う性で行動して良いのだから、「男女」という表現は入れていて良いと思う。

●市内でも、別の地域へ行くとよそ者扱いされる。古い歴史が続いており、コミュニティがあるのは良いが、転入してきた人は疎外感を感じるのではないかと。改善していけると良い。

## 議題（２）その他

### 【主な意見】

●今もプランがあるが、市民に届いていないのではないか。なぜ市が取り組んでいる内容が市民に届いていないのか、検討した方が良いのではないかと思う。
●当事者にならないと分からないことが多い。いろいろな人に分かりやすいものにしてほしい。
●目標にあるように、誰もがいきいきと暮らせる、住みたい街にしたい。他市の事例を知りたい。
●事前の意見作成にあたり、国や県の計画を参照したが、伊勢原の特色が強く、分析が必要だと思う。DVの関係では、若年層や子どもへの取組が必要だと思う。
●トップが変われば、部下も変わる。意識を変えていってほしい。
●第２次プランまでは、前例踏襲だった。新たな取組をして、新旧融合してほしい。

### 【質疑応答】

No.	質問	回答
1	策定に係る今後のスケジュールを知りたい。	<p>本日の意見をまとめ、施策の担当課を割り振りし、パブリックコメントに向けた計画案を作成する。</p> <p>12月にパブリックコメントを実施する予定のため、11月の第3回の会議で、計画案を提示させていただきたい。</p> <p>なお、上位計画である（仮称）第6次伊勢原市総合計画は、9月1日より基本構想及び基本計画（案）に関するパブリックコメントを実施し、10月末には総合計画審議会より答申が出る予定となっており、12月に議会へ上程する。</p>
2	次回の策定委員会では、具体的な取組が提示されるのか。	今回出された意見を踏まえて、パブリックコメント前のたたき台として、具体的な取組を提示していきたい。